

平成23年度 基本方針

本年、当連盟は創立50周年を迎えて更なる発展を期した第一歩として、創立以来の基本理念を承継しつつ、時代の変化に柔軟かつ積極的に対応した活動を進める。

当連盟が創立50周年迎えたこの機にわが国のスポーツ界を振り返ってみると、連盟創設当時から1970年代に向けて我が国社会人スポーツは、企業スポーツを基軸として右肩上がりの発展を遂げてきたが、産業界の国際的グローバル化の中で、急速な社会構造の変化と厳しい経済環境に見舞われて、企業スポーツも例外なくその影響を受けて大きく変化した。

このような厳しい企業スポーツ環境の中で、一企業の枠を超えたチームづくりという原点に立ち返った地道な活動と、社会・経済情勢の変化に対応し将来を展望した魅力ある新たな事業を展開することが急務となっている。

そのために、当連盟は本年2月に新法人として発足した「公益財団法人日本バレーボール協会」をはじめとする他のバレーボール団体、地域、自治体等とのこれまで以上の積極的な連携をもって、次の方針により活動を推進する。

1. 実業団バレーボール関係職場・企業組織及び地域・自治体等との緊密な意思疎通をはかり、新時代に相応した理念の形成と確立を目指して、加盟チームに対する支援、協力を充実強化する。 このため
 - (1) 連盟の展望と事業に理解と協力を広め、職場・企業組織及び地域・自治体等にも会員としての参加の呼びかけを行って、会員の維持・拡大に努める。
 - (2) 連盟内部のコミュニケーションの一層の改善と情報の共有化を図り、関係バレーボール団体等との協調・連携を強化し、新時代に相応しい連盟を構築する。
 - (3) 国体成年男女9人制問題を含め、今後の9人制バレーボールの普及発展に主導的立場で取り組む。
2. 「登録規程」の主旨を徹底し、JVAメンバー制度（個人登録）導入を円滑に進めて健全な良識を持って加盟チームおよび登録会員数の増加と地域における活動の拡大を図る。
3. バレーボール競技のPR・普及に積極的に取り組むとともに、マスコミ等への広報活動の充実を図る。
4. 実業団スポーツの枠を拡げて、各層の誰もが挑戦し得る競技会とシステムを構築し、9人制並びに6人制バレーボールのトッププレイヤーの強化と、基盤層プレイヤーの育成の場として交流と相互練磨の機会を提供する。 このため
 - (1) 9人制バレーボールについては、櫻田記念大会を頂点とする競技会のシステム化と大会運営の充実を図るとともに、(財)日本バレーボール協会を主とした関係団体との緊密な連携をもって国際交流を含めた9人制競技の発展に努める。
 - (2) 6人制バレーボールについては、日本バレーボールリーグ機構の主催する「V・プレミアリーグ」「V・チャレンジリーグ」に続く、全国各地の基盤層チームの振興と拡充に寄与するために創設された「全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会」をはじめとする各種大会の有機的关系の強化と運営の改善を図る。